平成 27 年 9 月 30 日

平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果について（報告）

本年４月に実施された、平成 27 年度全国学力・学習状況調査についての本校の結果および分析(概要)について報告いたします。

なお、生徒の個人票は９月４日に返却しております。

実　施　日　　平成 27 年４月 21 日(火)
個人票返却日　　平成 27 年９月４日(金)

１　調査の概要

(1) 調査の目的

◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図る。

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。』

(2) 調査の内容

①教科に関する調査（国語，数学，理科）

主として「知識」に関する問題（A）	主として「活用」に関する問題（B）
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など

※理科については，主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

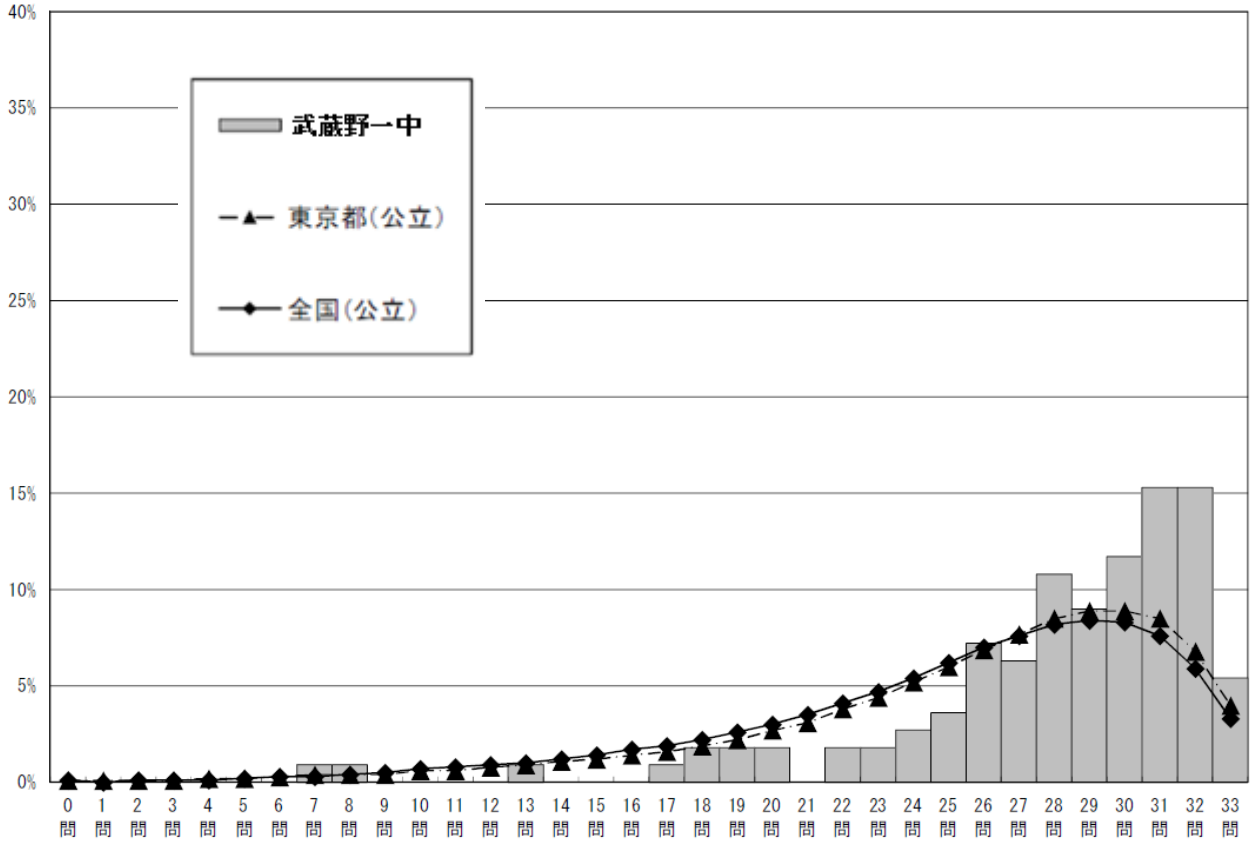
生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査 （例）国語の勉強は好きですか，授業の内容はどの程度分かりますか，一日にテレビを観る時間，携帯電話等の使用時間，読書時間，勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）学力向上に向けた取組，指導方法の工夫，教育の情報化，教員研修，家庭・地域との連携の状況　など

２　平均正答率

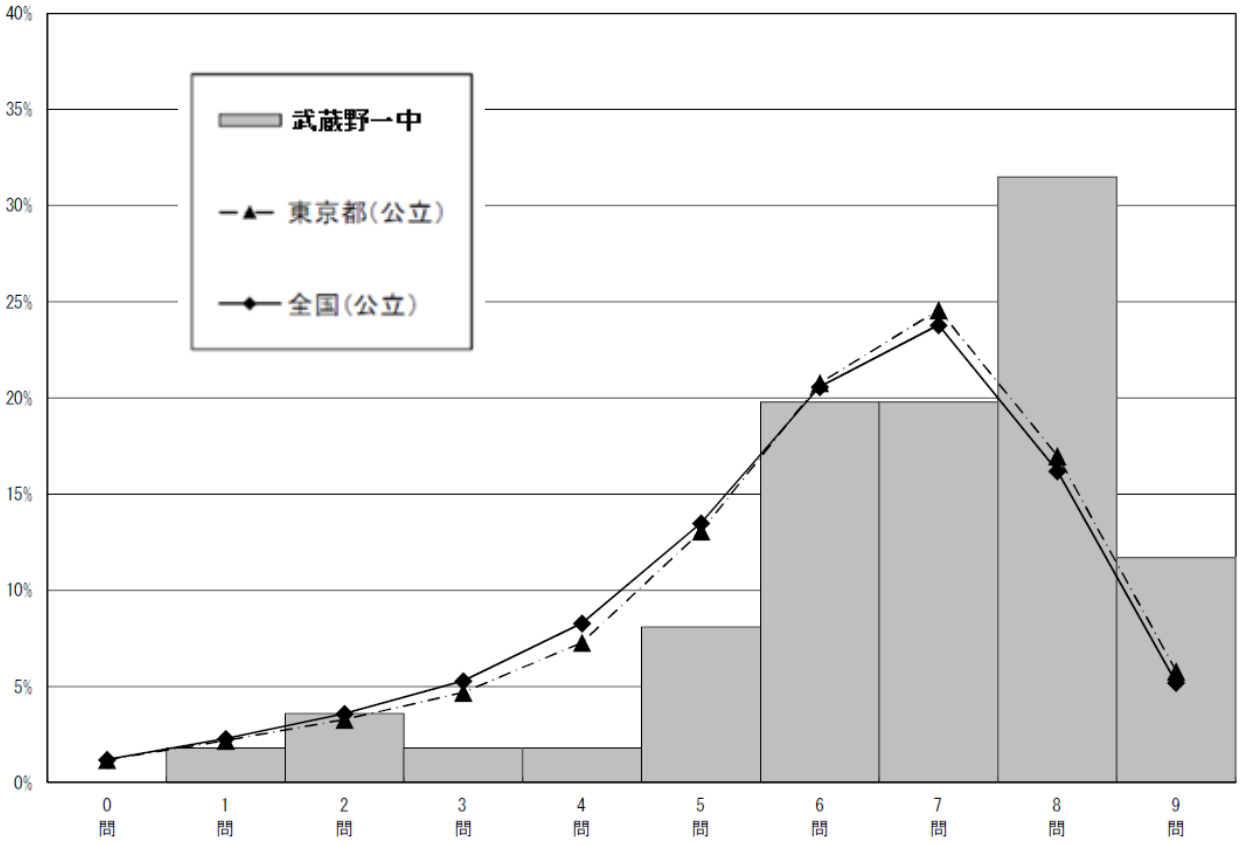
	国語 A 平均正答率 (%)	国語 B 平均正答率 (%)	数学 A 平均正答率 (%)	数学 B 平均正答率 (%)	理科 平均正答率 (%)
武蔵野市立第一中学校	84.7	75.3	76.8	54.4	55.4
東京都（公立）	77.2	67.0	66.3	44.0	52.5
全国（公立）	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

３　国語　正答数の人数分布（横軸：正答数　縦軸：割合）

＜国語 A＞

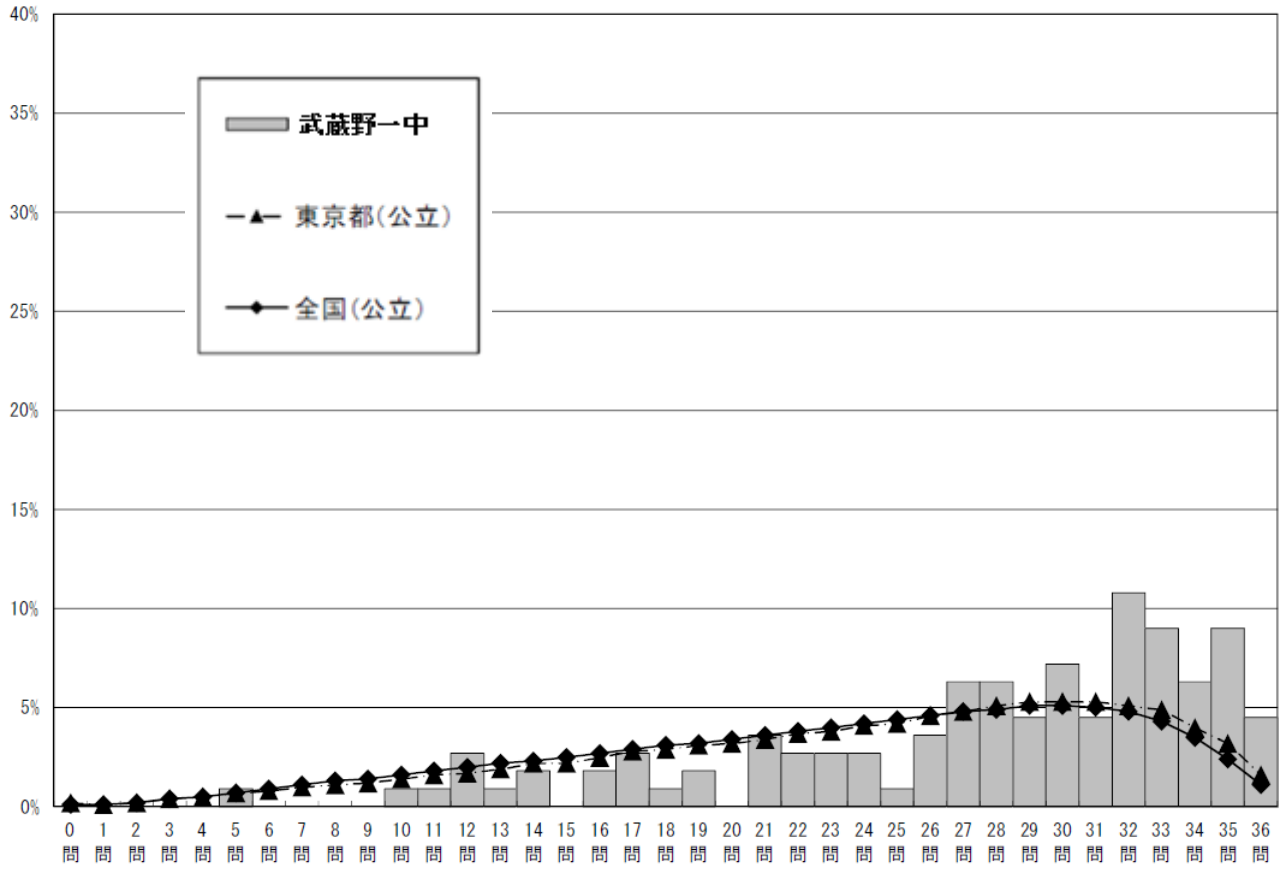


＜国語 B＞

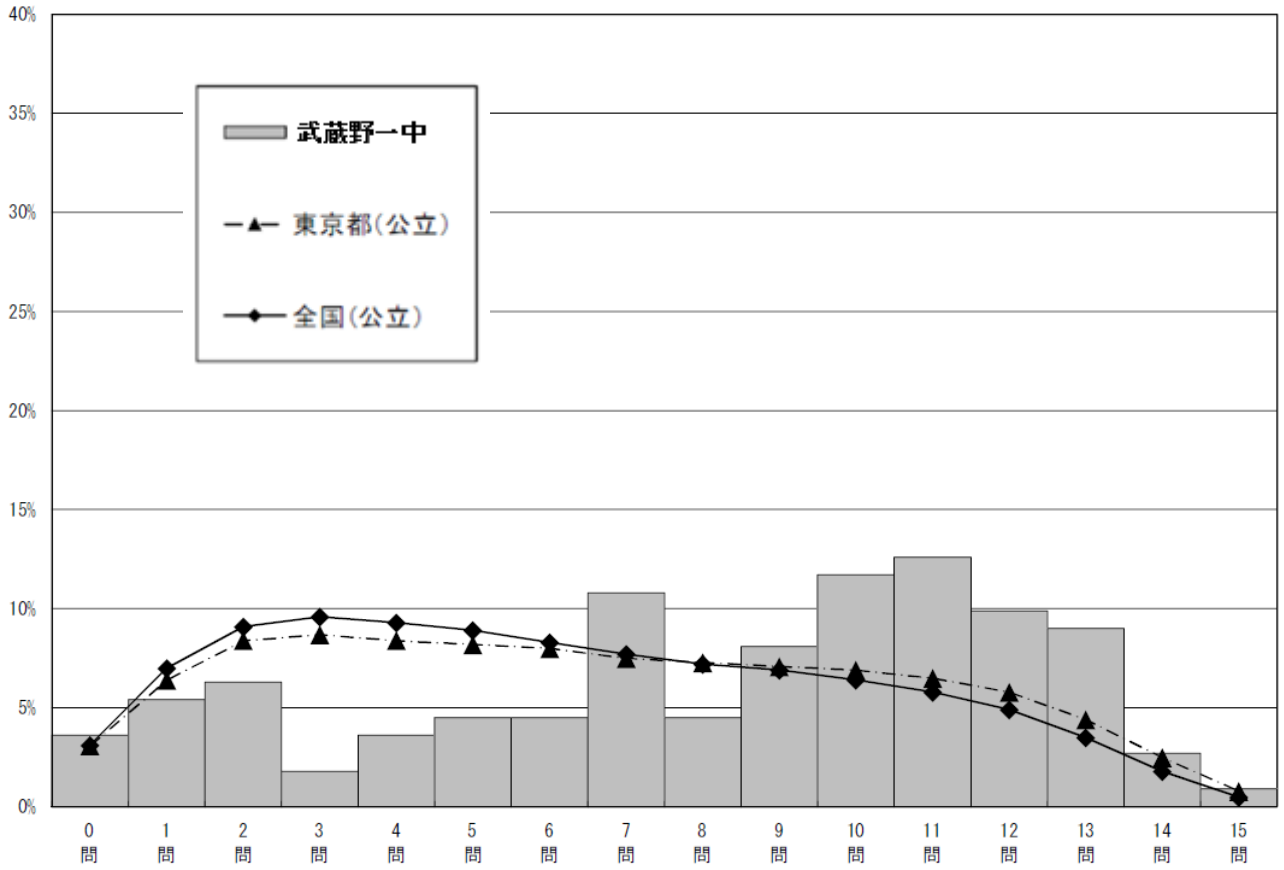


４　数学　正答数の人数分布（横軸：正答数　縦軸：割合）

＜数学 A＞

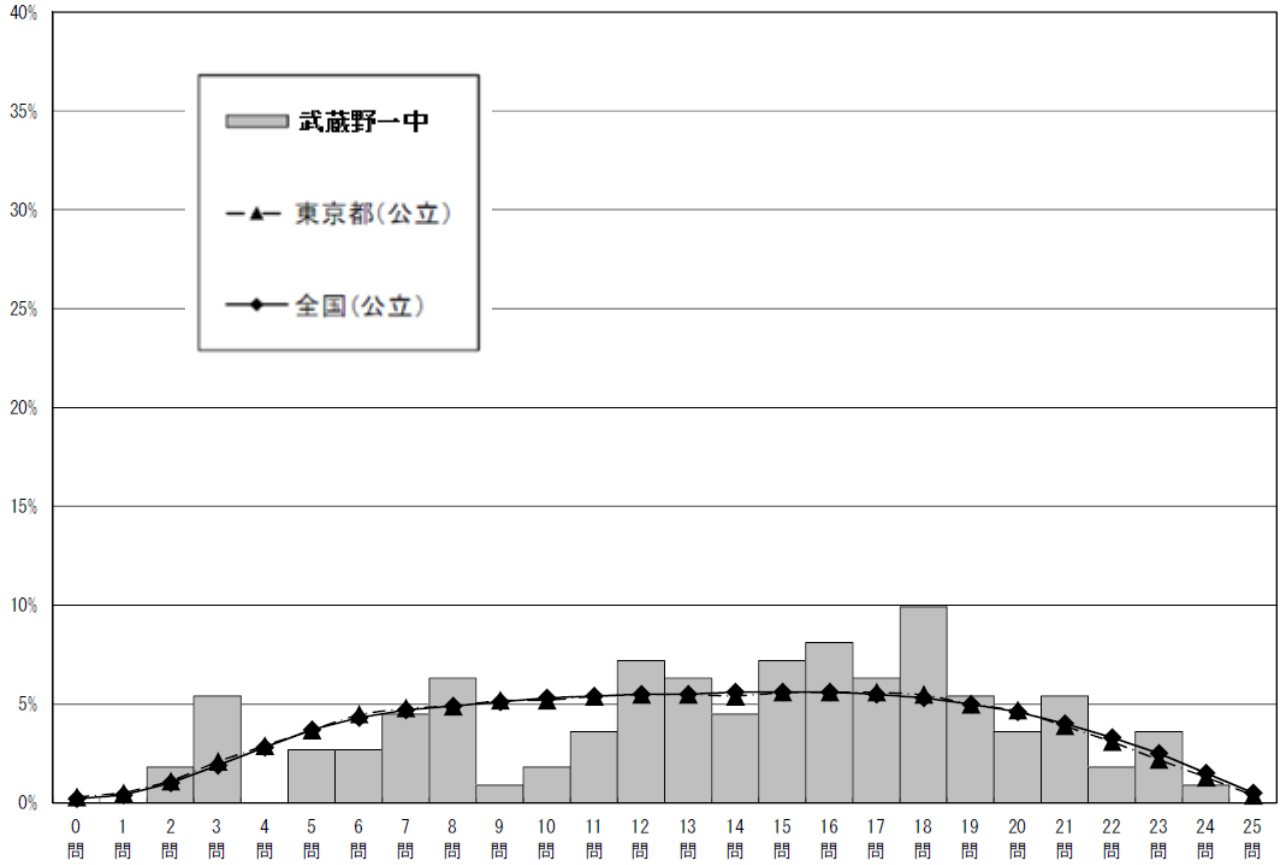


＜数学 B＞



５　理科　正答数の人数分布（横軸：正答数　縦軸：割合）

＜理科＞



６　本校の第３学年生徒の教科に関する調査結果の分析（概要）

今回の「全国学力・学習状況調査」では、学習指導要領に示された目標や内容の実現状況を、『A：主として「知識」に関する問題』及び『B：主として「活用」に関する問題』を用いて調査しました。また、各教科の内容は、以下の領域・観点から調査しました。

教　科	国　語	数　学	理　科	
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	数と式	第１分野	物理的領域
	書くこと	図形		化学的領域
	読むこと	関数	第２分野	生物的領域
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	資料の活用		地学的領域
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	数学への関心・意欲・態度	自然事象への関心･意欲･態度	
	話す・聞く能力	数学的な見方や考え方	科学的な思考・表現	
	書く能力	数学的な技能	観察・実験の技能	
	読む能力	数量や図形などについての知識・理解	自然事象についての知識･理解	
	言語についての知識・理解・技能			

（1）データから見る全国平均との比較

全国及び東京都の平均正答率と比較すると、国語A問題は約７～９ポイント、数学A問題は約１０～12 ポイント、B問題においては、国語では約８～９ポイント、数学は約 10～12 ポイントそれぞれ上回るという結果になりました。今年度から行われた理科は約２～３ポイント上回るという結果でした。また、学習指導要領に示された目標や内容の実現状況では、国語・数学とも全ての領域・観点において全国及び東京都の平均正答率を上回っています。また、今年度始まった理科もほとんどの領域・観点において全国及び東京都の平均正答率を上回っています。

国 語

A 問題では、どの領域においても全国平均の正答率を４～10 ポイント程度上回っていました。「読むこと」の領域では全国平均の正答率も 86%とかなり高く、あまり差がつかなかったと思われます。また、A 問題・B 問題を通してみると、「自分の考えが効果的に伝わるように工夫して書く」という点において、全国平均を大きく上回る傾向がありました。意識調査でも、「うまく伝わるように話の組み立てを工夫する」「考えの理由が分かるように気を付けて書く」といった項目に肯定的な回答をした生徒の割合が高く、日頃の意識が結果にもつながっていると言えそうです。また、文法の問題については全国平均よりも大幅に高い正答率となりました。

数 学

どの領域・観点においても全国平均の正答率に対して上回っています。A問題ではすべての正答率が 70%を超え、特に「数と式」の領域では 82%を超えており、とても高い正答率となっています。B問題では、「数学的な技能」の観点で、全国平均の正答率を 20 ポイント超えています。ただ、「関数」と「資料の整理」に関しては、全国的にも正答率が低い領域ではあるが、本校でも課題となるところです。「資料と整理」に関しては、１年生で扱ったのち、２年生では扱わなかったので忘れてしまっていたと思われます。また、記述式の問題も苦手な傾向があるので、授業の中で自分の考えをまとめ、記載する作業を多く取り入れていくことが大切であると考えられます。

理 科

全国や東京都の平均正答率を比べると、領域では地学領域が約５ポイント、観点では観察・実験の技能が約２ポイント、自然事象についての知識・理解が約３ポイント下回ることから、地学に関しての知識・理解の定着と観察・実験の技能を身に付けることが課題であると考えられます。

（2）正答数の人数分布から見る分析

国 語

全体として得点分布の山を全国平均から高めにスライドした形となっています。低得点者の割合が比較的小さいことも特徴といえます。一方で、特に A 問題については全体の正答率も高いため、この結果からは高得点者層の学力が全国と比較してどうか、ということは判断することは難しいと考えられます。

数 学

A問題に関しては、得点分布の山が全国平均の分布の山よりも高い位置に多くある。ただ、B問題に関しては全国平均の分布よりも高い位置にあるが、２つの山ができている。基礎・基本の定着と、その既習学習内容を活用し、課題解決を図る学習が今後の課題であると考えられます。

理 科

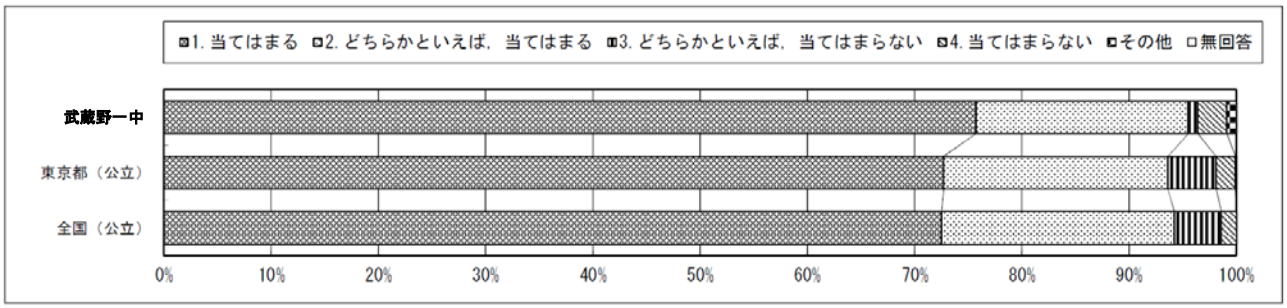
全国や都の正答数の人数分布は台形のようになっているのに対し、本校の場合、３問を頂点とする山、８問を頂点とする山、18 問を頂点とする山やまが３つになっている。正答数が高いところに人数が集まっているため、平均正答率が全国や都よりも高くなっている。

以上が、本校の第３学年生徒の教科に関する調査結果を分析した概要です。今回の調査結果を基に、各教科の成果と課題を学習指導に生かし、更なる学力向上に努めます。

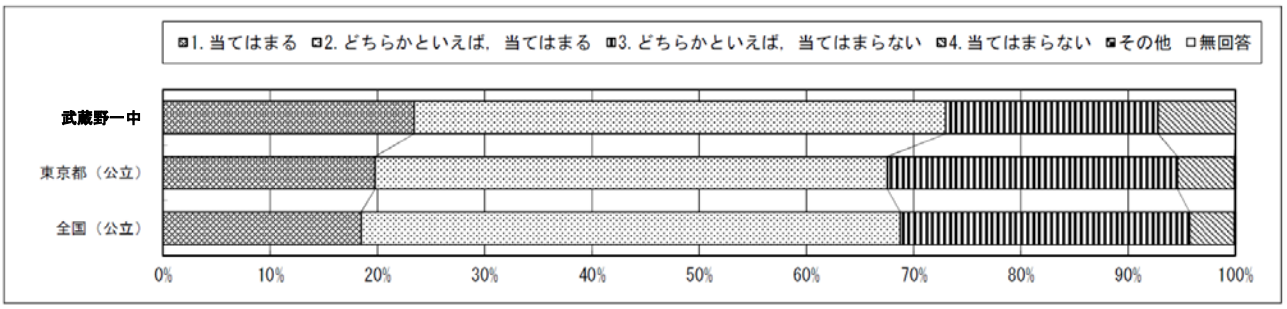
７　本校の第３学年生徒の生徒質問紙調査結果の概要について

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する 84 項目の質問事項を、質問紙調査として実施しました。本校における特徴的な項目を抜粋して示します。

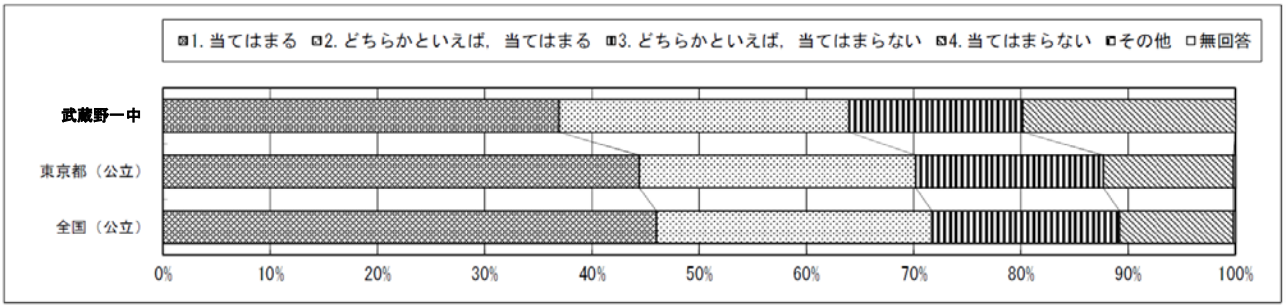
質問番号(4) ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか



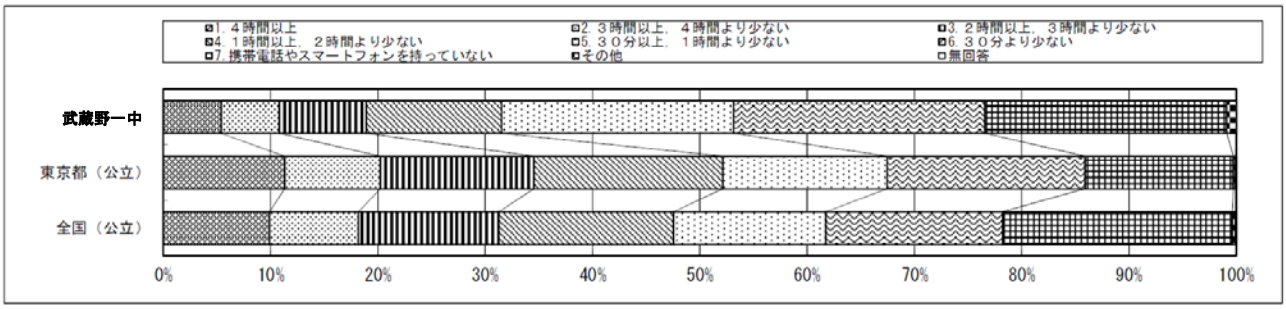
質問番号(5) 難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦していますか



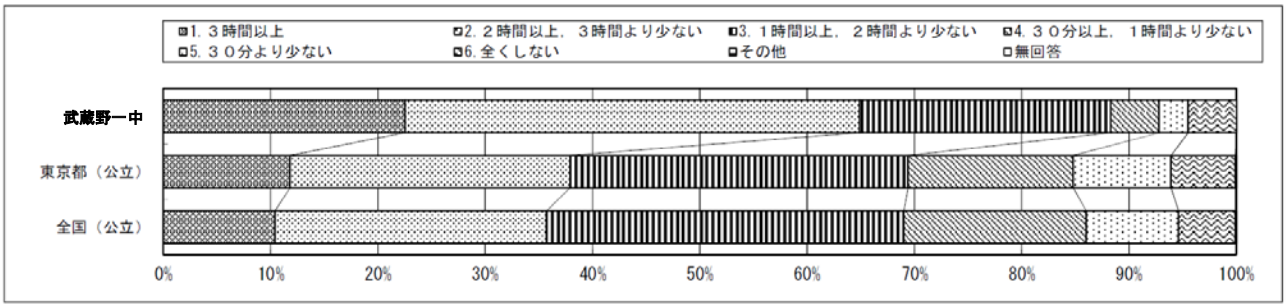
質問番号(9) 将来の夢や目標を持っていますか



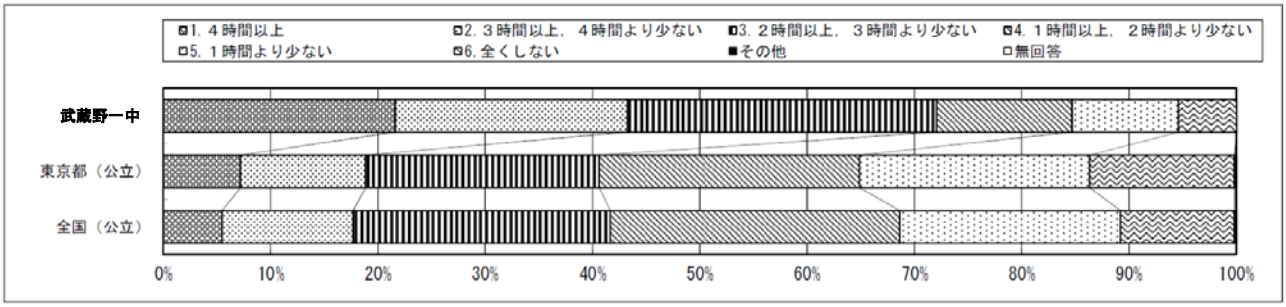
質問番号(12) 普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）



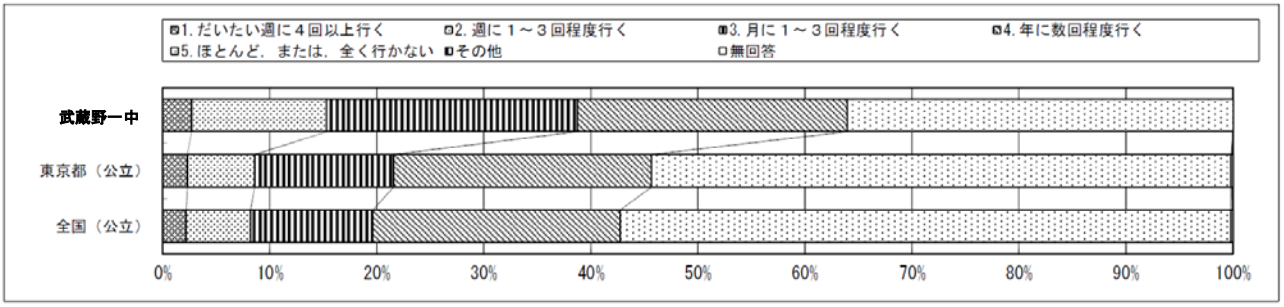
質問番号(13) 学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



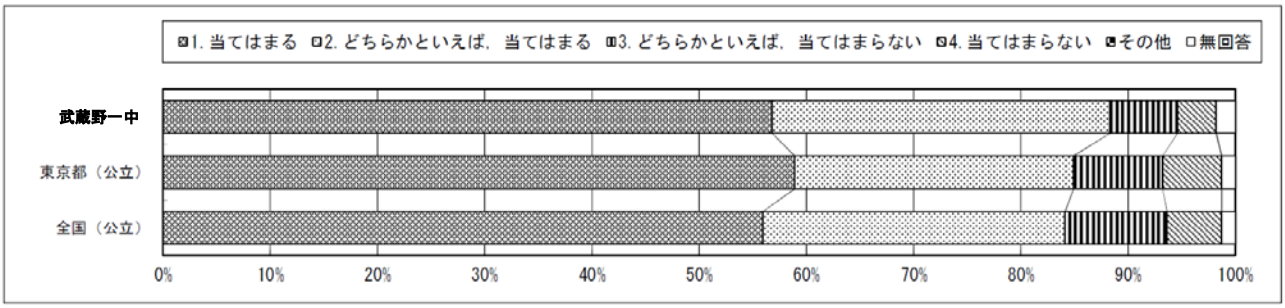
質問番号(14) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に，１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



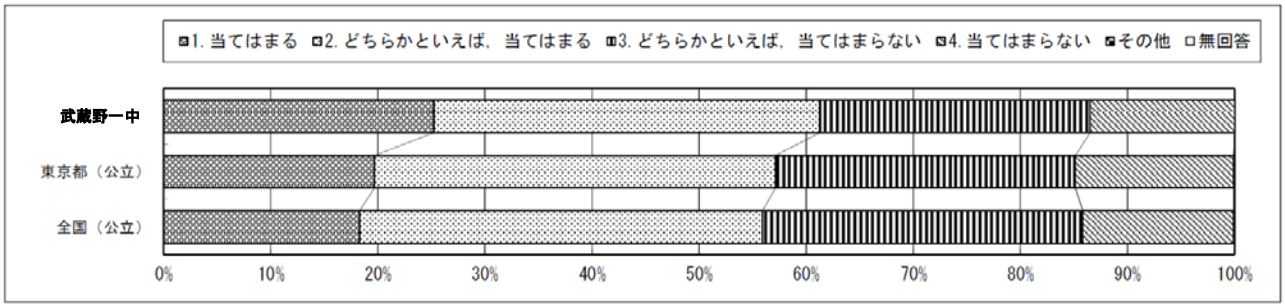
質問番号(17) 昼休みや放課後，学校が休みの日に，本（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか



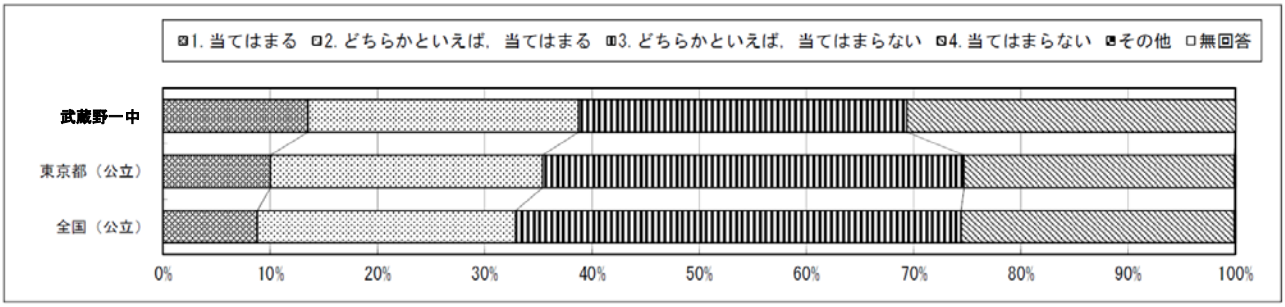
質問番号(26) 学級みんなで協力して何かをやり遂げ，うれしかったことがありますか



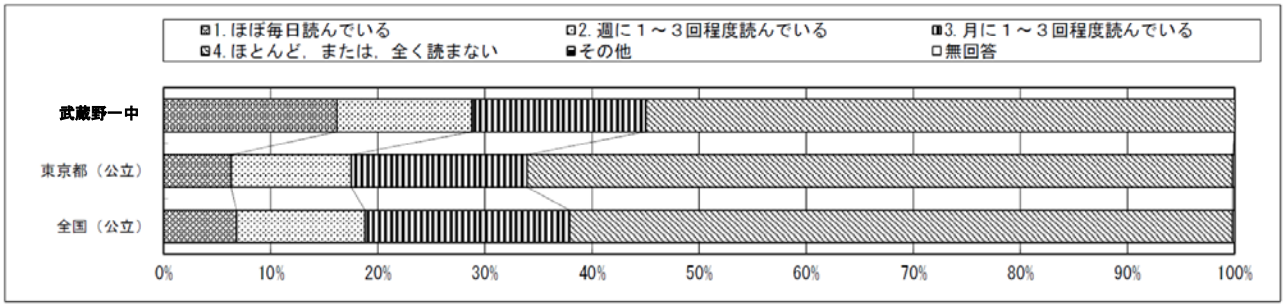
質問番号(28) 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



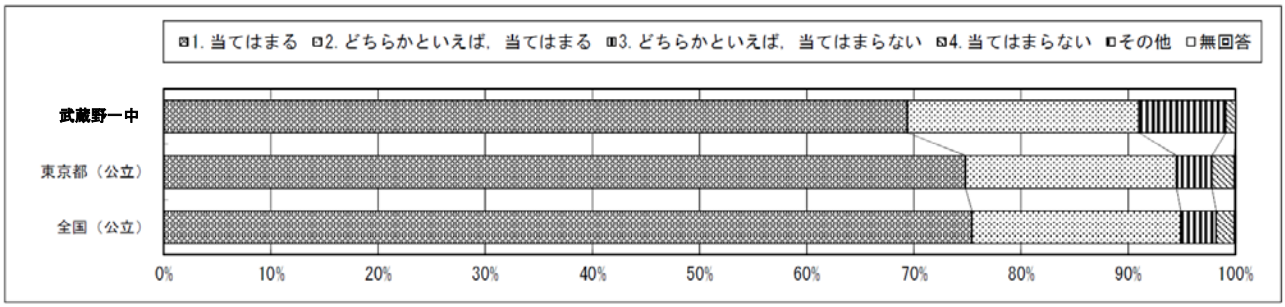
質問番号(29) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



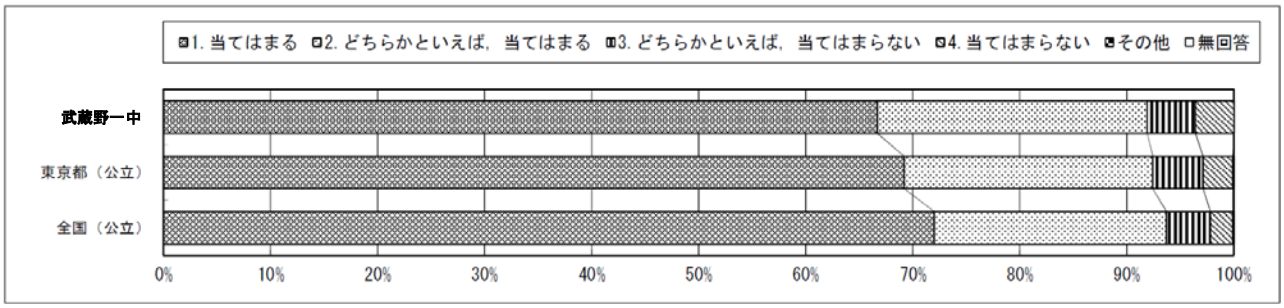
質問番号(30) 新聞を読んでいますか



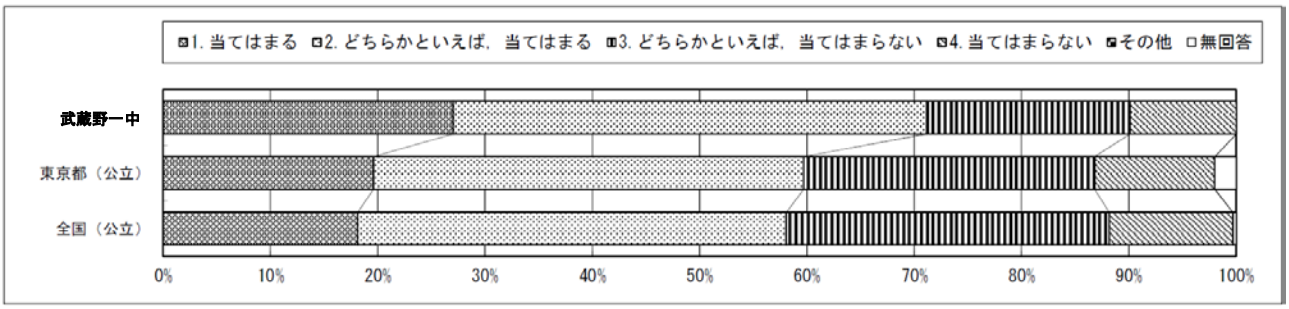
質問番号(33) 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか



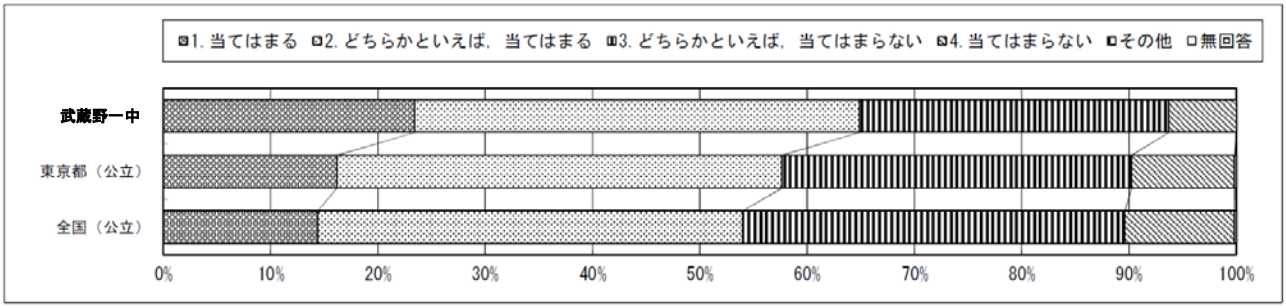
質問番号(35) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



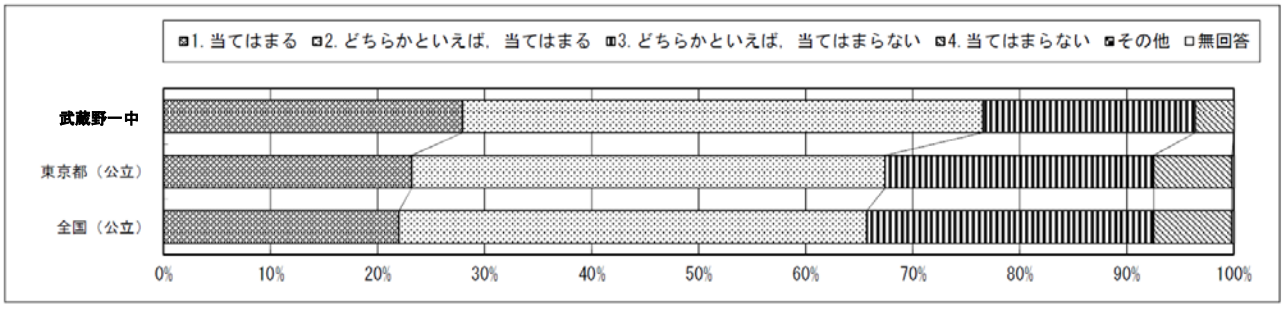
質問番号(37) 「総合的な学習の時間」では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



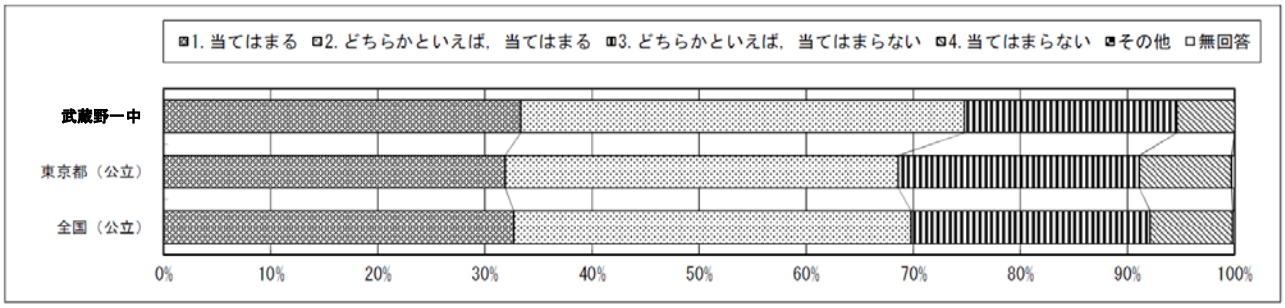
質問番号(54) 国語の授業で意見などを発表するとき，うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか



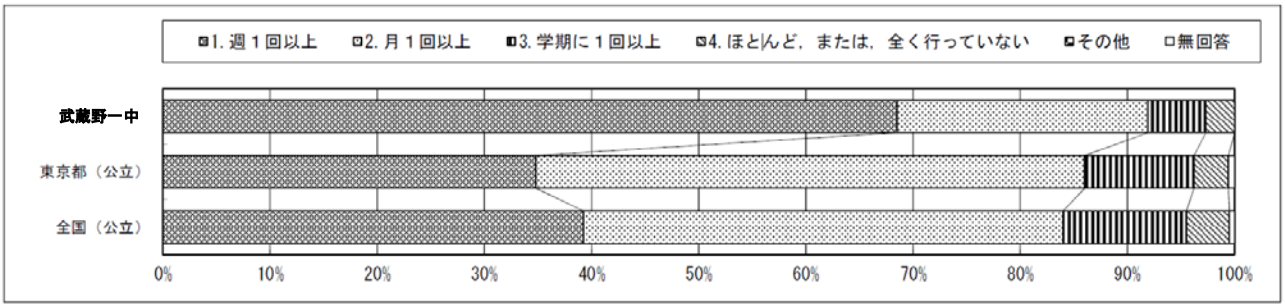
質問番号(55) 国語の授業で自分の考えを書くとき，考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



質問番号(62) 数学の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか



質問番号(77) 理科の授業では，理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか



学習に関しては、学校の授業時間以外に予習・復習等に計画的に取り組む割合が高く、関心の高い状況が伺えます。また、地域や社会の出来事への関心も高く、地域や社会を良くするために何をすべきかを考える割合も高い傾向にあります。これは、本校の特色である地域社会と連携した様々な教育活動が生徒に浸透してきているものと捉えています。今後、生徒たちがお互いを認め合う活動を通して、達成感や成就感を実感するとともに、自己肯定感を一層高め、将来に夢をもてるような指導及び支援をしていくことが大切であると捉えています。